

2025年度 審判部方針

基本方針

審判技術の向上による正確なジャッジ

1. 審判技術講習会の開催

年2回（前期、後期）審判技術講習会を開催する。

講習会は1時間程度とし、本年は主に球審の研修を中心にストライクゾーンの確認を実施する。ルールについての研修も行う。

2. 2審制の導入

壮年大会、市民大会およびリーグ戦の第一試合の審判については審判部で担当するが、審判員の不足に対応するため2審制を導入する。

2審制においては、監視（外野審）、記録、補助もジャッジに対して助言を行うものとする。

壮年大会、市民大会について、状況に応じて、責任審判での実施もお願いする。

3. 責任審判員について

各チームにお願いしている責任審判は、なるべく同じ人を出して頂き審判員の技術力向上を図る。

球審においても責任審判で実施する。審判部員をゲーム責任者として配置し、都度助言を行う。

4. 審判員の連携

事前打合せ及び試合後の反省をゲーム責任者主導で実施し、ミスジャッジの撲滅及びトラブルの防止を図る。

具体的な内容で審判員同士の連携について確認する。

試合後の反省は、事前打合せで申し合わせた事項が出来たかどうかを検証する。

5. スムースな試合進行

1イニングでも多くできるよう、また定刻に試合が終わるようにスムーズな試合進行に努める。

トラブルが発生した場合は、ゲーム責任者が中心となって対処する。

必要に応じて、記録・補助・監視等も助言を行う。